



ふ れ あ い

市長室



南あわじ市長 守本 憲弘

地域コミュニティ力の復元を ～ポストコロナ社会を見据えて～

新型コロナウイルスのまん延防止等重点措置の期限が兵庫県や大阪府などで延長されました。全国での1日の新規感染者数は約10万人に上る日もあり、兵庫県でも6,000人を超える日が多く確認され、淡路島内でも過去最高を更新しています。本市では、感染予防に最も有効な手段の一つであるワクチン接種について、医師会・歯科医師会の多大なご尽力を賜りながら3回目の接種に取り組んでおり、2回目接種の後、一定期間を経過した高齢者の方から順次、接種のご案内をさせていただいています。集団接種は予約状況に余裕がありますので、個別・集団接種にかかわらず、ご案内がお手元に届きましたら、インターネットか電話でできるだけ速やかにご予約をお願いします。

さて、コロナ禍での感染拡大のニュースや行動制限で、各種事業の動きなどの発信も低調になりがちなか、先日、本市に移住いただいている地域おこし協力隊・地域再生協働員による活動報告会がありました。美菜恋来屋を拠点として生産者等と連携するとともに、地域食材の地産地消の定着に取り組んだり、コロナ禍で一気に認知されるようになった、オンラインイベントでの魅力PR活動にチャレンジしたりするなど、

多彩な活動を展開しています。私も時折活動ぶりをのぞかせていただきますが、地域に飛び込んで新しい風を吹き込む姿に、元気と勇気もらっています。また、スポーツや文化の面でも、直近では卓球の全国大会出場の記事をいただいたり、人形浄瑠璃の木偶づくりで賞をもらったりと、制約の中でも着実に市民の皆さまの活躍が実を結んでいることは、とてもうれしく思っています。

また、滝川記念美術館玉青館では3月12日まで、開館30周年記念松帆銅鐸展示室企画展「銅鏡オリンピック展」を開催中です。金銀銅をあしらった輝く銅鏡の光は、冬季オリンピック北京大会での日本勢の活躍と南あわじ市の輝かしい未来を象徴しているようにも感じます。また、夏には市内で発見された銅鐸7点が勢ぞろいする特別展も予定しています。

一方、地域コミュニティ醸成の基盤となっていた地域の祭りやスポーツ大会、伝統芸能活動などがコロナ禍で活動中止を余儀なくされているのも事実です。市では、地域コミュニティ力の復元とさらなる強化をめざし、こうした活動の再開を後押ししていく方針です。

今年も早いもので年度末を迎え、新年度がすぐそこに迫っています。令和4年度も幅広い視野で市民生活、産業活動の実態を把握しながら、気を引き締めて市政に取り組んでまいります。市民の皆さまにおかれは、引き続き、市政へのご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、新型コロナウイルス感染予防にも一層のご協力をお願いいたします。

感染症対策にご協力をお願いします

- ・3密を避け、人と接する場合はマスクを着用する
- ・手洗いや手指の消毒を励行する
- ・室内や移動の車内などでは換気を十分に行う

「トライやる・ウィーク」 新規受け入れのお願い

「トライやる・ウィーク」で新たに生徒を受け入れていただける事業所を募集します。中学2年生が地域での職場体験などを通じて、共に生きる心や感謝の心を育み、自律性を高められるよう、ご協力をお願いします。

実施日程

5月16日（月）～20日（金） 南淡中、沼島中

5月23日（月）～27日（金） 三原中

9月5日（月）～9日（金） 西淡中、広田中

申込期限 3月14日（月）

申込方法

学校教育課（☎43-5231）へご連絡ください

卒業論文発表会 開催

2月11日、農学部4年生による卒業論文発表会および課題研究発表会を開催しました。新型コロナウイルスの影響から、今年度は対面発表を行わず、オンライン上での資料共有という形になりました。日々の学生生活からだけでなく、発表論文からも学生の成長を感じる会だったと思います。

今年度は地域創成農学科では6期目の卒業生を、2018年に設立された醸造学科ではこのたび初めての卒業生を輩出します。この南あわじで培った経験を生かし、社会で活躍してくれることを期待しています。

☎同大南あわじ志知キャンパス事務室 ☎42-4700



受賞おめでとうございます

厚生労働大臣表彰

社会福祉功労者

柴田 亮平さん（広田・医師）
平成17年1月から福祉事務所嘱託医として、生活保護業務にかかる医療扶助の専門的判断、職員に対する助言・指導など長年にわたって従事されています。

兵庫県表彰

みどりの章

川口 佳子さん（津井）
北野 雅幸さん（福良）
佐々木 由和さん（広田）
久田 佳史さん（神代）

兵庫県青少年補導委員連合会表彰

知事表彰

吾郷 尋恵さん（広田）

知事感謝

濱田 壽夫さん（阿那賀）

鍛冶山 るり子さん（湊）

会長感謝

原田 宜彦さん（市）

北條 明さん（志知）



寄贈式で守本市長に目録を手渡す鯉森会長（右）

三原ライオンズクラブ 南あわじ市へ梅の木を寄贈

三原ライオンズクラブから淡路ふれあい公園と広田梅林ふれあい公園に、梅の木を1本ずつ寄贈いただきました。
同クラブには約40人の会員が所属しており、青少年育成や地域の活性化、環境問題への取り組みなどの社会奉仕活動を行っています。寄贈は、地球温暖化対策



広田梅林ふれあい公園に植樹された梅の木

の1つとして、温室効果ガス削減につながればと考えられたもの。季節と地域性などから両公園への植樹を決めました。
1月27日、市役所で寄贈式が行われ、同クラブの鯉森富茂会長から守本市長に目録が手渡されました。

シニア世代の就労拡大へ 事業者セミナー開催



淡路島の雇用情勢について聞き入る参加者ら

シニア人材を生かした「柔軟な新しい働き方」を創出しようと1月31日、市内事業者を対象にしたセミナーを開催しました。
南あわじ市では超高齢化による人手不足などの課題への対応として、シニア世代の活躍の場を広げる「高齢者等元気活躍推進事業」を実施しています。セミナーは事業の一環として、事業

者に安心してシニアの雇用に取り組んでもらおうと企画。会場観覧とオンライン参加をあわせて、18人が受講しました。
セミナーでは、淡路島内の求人・求職状況や、シニアを採用する市内事業者の具体的な取り組みについて説明がありました。
市では今後も、事業者と協力し、シニア世代の人が無理せず続けられる就労の場の拡大に取り組んでいきます。